

ホワイトペーパー

JOHNSON CONTROLS の SENSORMATIC SOLUTIONS が語る 小売のサステナビリティ

当社では、責任ある小売を私たちがすること全ての中心においています



要旨

Johnson Controls の小売ポートフォリオの Sensormatic Solutions は、製品、ソリューション、プロセスで構成されています。Johnson Controls は、サプライチェーンから店舗フロアまで、小売事業運営に対する行動と手順を取り入れることで、より強力で健康な未来を形成するために貢献できると強く信じています。

当社のサステナビリティへの取り組みは、施設から始まり、お客様の手に渡った後も続きます。これは、小売業者がテクノロジーを独自のサステナビリティ目標の中核に位置付ける機会を促します。このため、より高い付加価値を促進し、顧客との関係を築き、ブランドロイヤルティを生むことができます。

サステナビリティ戦略について再考するのに今ほど最適な時はありません。新型コロナウイルスによって、ユニファイドオムニチャネルコマースや、クリック&コレクト、オンライン注文、カーブサイドピックアップ (BOPAC) などの代替的な購入方法への移行がこれほどまでに加速し、小売の店舗状況の正確な把握や、企業全体のデータ分析などのニーズが高まったのですから。変化が起こるたびに、ビジネスは移行を遂げ、人々とコミュニティのつながりが、より一層強くなりました。感染拡大はまた、現在の小売環境やトレンドにおける店舗の役割と運用、そして回復期の成長とレジリエンスのより重要な一部にサステナビリティをどう位置付けられるかを再考する機会をもたらしました。

その上で、ビジネスにとって、かつて「あるといいもの」にすぎなかったサステナビリティは、現在では必須の責務です。インクルーシブな社会と共に繁栄する地球に対する、私たちの共通のビジョンは、個人レベルで始まります。そして、このような共通の目標は、明るい未来をもたらします。



小売業界におけるサステナブルな製品、ソリューション、慣行に対する圧力の高まり


責任ある小売は、転機点にさしかかっています。これは、主要メディアの見出し、小売業者の最重要イベントや見本市のアジェンダ、そして世界中の役員会でも題材として取り上げられるようになりました。これは、消費者の社会的テーマへの関心が高まるにつれ、その価値観に合った製品やブランドが求められるようになったためです。

[IBM](#) と全国小売連盟が 2020年 に実施した、消費者の選好と優先事項の推移を調べる調査には、28か国18,980人の消費者を対象とした調査結果が含まれています。調査で明らかになったこと：

- 調査に参加した消費者 10 人中ほぼ 6人が、環境へのインパクトを減らすために、ショッピングの習慣を変えようとする気持ちがあること
- 回答者 10 人中 8 人近くが、サステナビリティを重視していること。
- 「重要/非常に重要」とした回答者の 70% 以上が、サステナブルで環境的責任を持ったブランドに平均 35% のプレミアム (割増金) を支払う意思があること。

さらに、新型コロナウイルス感染拡大を受け、消費者は、私たち人類だけでなく、地球の健康と福利に対する必要性の高まりを視野に入れて世界を見るようになりました。世界的感染拡大は、世界の広大な相互関連を露呈し、意義ある変化は、たった1人、あるいは1つの行動から始まるのだ、ということが明らかになりました。そのため消費者は、ビジネスがさらに強い姿勢でサステナビリティに取り組むことを求めています。[Capgemini Research Institute](#)の2021年のレポートによると、

- 消費者の 67% が、新型コロナウイルス感染拡大を受け、天然資源の希少性をより意識するようになったと答えています。
- 65% は、「新常态」で消費行動の全体的な影響をより意識するようになる、と述べています。
- 78% の消費者は、企業の社会的役割が増した、と感じています。
- 過半数 (53% 以上) が、サステナビリティの取り組みで強い実績と、目的意識を持った消費財・小売 (CPR) 企業を選ぶ、と答えています。



「責任ある小売」のコンセプトは、常に、私たちがやるすべてのことの中に据えられてきました。事実、これは過去数十年間変わっていません。

サステナビリティというテーマに対する消費者の視点は、企業の環境的配慮が重視される中南米でも明らかにされています([2021 Kantar レポート](#))。主な結果は、環境的活動を通じてどのようにブランドイメージを向上できるかを示した研究に基づいています。「環境活動に積極的に取り組む」あるいは「環境的意識が高い」と分類される、環境活動にコミットしている顧客は、すでに中南米の過半数を占めています。このセグメントは、世界平均を上回ります。

新興アジア経済の消費者の環境的問題に関する[McKinsey & Company レポート](#)は、梱包材量のサステナビリティに主にフォーカスしています。サステナビリティの問題を戦略プランの重要な要素と位置付けることで、パッケージング企業は、サステナビリティを利用して、どのように差別化を図り、顧客の関心を集め、成長を促進できるかを特定することができます。

サステナビリティは、消費者一人ひとりのコミットメントであり、感情的なつながりに基づいています。Johnson Controls では、サステナビリティは Sensormatic Solutions が提供する製品、サービス、プロセスの重要な要素であり、優先事項であり続けてきました。

長年受け継がれてきたサステナビリティの専門知識

Sensormatic Solutions は、Johnson Controls の小売ソリューションカテゴリで、受賞歴を持つ、ビル空間ソリューションのリーダーとして、135年以上の歴史があります。Johnson Controls は、次の実現に向けて、たゆまぬ努力をしています。

- お客様に力を与える
- サステナブルな未来に向けた技術革新
- 環境影響に働きかける

Johnson Controls の主要グローバル小売ソリューションとして、サステナビリティは、小売ソリューションカテゴリのビジョンとバリューの重要な部分を占めます。

1966年の発端以来、サステナビリティは、Sensormatic Solutions にとって重要な原動力であり続けてきました。これは、Johnson Controls のプロセスと施設、製品、ソリューション、サービスの一部であり、変化をもたらすために、共通の目的を持って取り組む人々から成る、インクルーシブな文化に根差しています。

Johnson Controls: サステナビリティの先駆者

Johnson Controls は、環境的影響を大幅に軽減するために、抜本的なステップを取っています。また、お客様と次世代の人々が、エネルギーを消費量を削減し、資源を保護し、健康なカーボンネットゼロのコミュニティを実現するための道筋を特定するために必要なソリューションを提供しています。Johnson Controls は、CDP の気候変動リストで上位 12 パーセント入りを果たし、最近では World's Most Ethical Companies® 受賞リストおよび Corporate Knights の「Global 100 most Sustainable Companies」(世界で最も持続可能な企業100社)入りを果たしています。

Johnson Controls 最高経営責任者の George Oliver は、[ビジネス・ラウンドテーブル エネルギー・環境委員会](#)の会長を務めており、環境を保護し、持続可能なエネルギーの選択肢を最大限にするための方針を推進しています。

本年、Johnson Controls は、[科学的根拠に基づく目標イニシアチブ \(SBTi\)](#) によって、その大胆な排出削減目標が承認されたことを発表しています。Johnson Controls のバリューチェーンからの排出量は、業界ベストプラクティスと一致しています。

サステナビリティへのコミットメントには、以下が含まれます。

- ・ 気候変動に関する政府間パネルの「気温上昇1.5°C」のシナリオと一致した、科学的根拠に基づく目標を定めること
- ・ 2030年までに、Johnson Controls の運用排出量を55%削減し、顧客排出量を16%軽減すること(絶対値ベース)
- ・ 国連気候変動枠組み条約 (UNFCCC) の「Race to Zero」(ゼロへのレース)および「Business Ambition for 1.5°C」の基準に基づき、Scope 1 および 2 の算定によるカーボンネットゼロを2040年までに達成すること
- ・ 新製品の R&D で、気候関連の新技術に 75% の投資資金を充て、持続可能な製品・サービスを開発すること
- ・ 2040 年までに、グローバル規模で 100% 再生可能電気への移行を完了すること。
- ・ サプライヤとティア 1 サプライヤで構成されたサプライヤのサステナビリティ担当委員会を設置し、サプライヤにサステナビリティベストプラクティスと OpenBlue デジタルツールに関するトレーニングを提供し、意欲的なサステナビリティ目標の達成を目指すこと。



Sensormatic
by Johnson Controls

Johnson Controls が OpenBlue Net Zero Buildings 'As a Service' を導入

OpenBlue Net Zero Buildings 'As a Service' は、カーボンネットゼロ目標と、再生可能エネルギーの目標達成を目指す企業に、ワンストップサービスを提供します。'サービスとして (As a Service)' モデルは、お客様に確実な結果とリスク移転モデルを提供し、排出量削減へのコミットメントを通じて、より健康なビル、人々、場所、そして地球を実現します。

OpenBlue Net Zero Buildings 'As a Service' ポートフォリオには、学校、小売、キャンパス、データセンター、ヘルスケア施設、および商業・工業用ビルに合わせた、完全なサステナビリティソリューションが含まれています。

- Johnson Controls が多数のビル専門家を対象に実施した Net Zero Pulse 調査によると、ネットゼロ目標設定の早期実現を目指す動きが見られ、90%以上の回答者が、少なくとも2030年までに炭素排出量とエネルギー消費量の大幅な削減を目標に掲げていると答えました。これは、国連の「パリ協定」の定める目標を大幅に前倒して達成するものです。
- 新製品には、ネット・ゼロ・ビルに向けたロードマップ、インパクトの強い OpenBlue のサステナビリティソリューション、およびエネルギー、水資源、およびグリーンガスの排出を分析するリアルタイムのパフォーマンスダッシュボードとレポートへのアクセスが含まれます。

サステナビリティの目標の実現

当社のお客様 (小売業者) およびその顧客 (消費者) を支援する

当社の小売ポートフォリオブランド、Sensormatic Solutions、に対する Johnson Controls の戦略は、お客様 (小売業者)、顧客 (消費者) および当社の施設と工程のサステナビリティ目標に寄与し、それを強化します。次ページでは、これら 3 つの領域における、サステナビリティの影響について検討します。

小売業者にとってのサステナビリティ



小売業者のサステナビリティに関するイニシアチブの中心にテクノロジーを位置付ける サステナビーションと Sensormatic IQ

2021年1月に導入された Sensormatic IQ は、最先端の IoT テクノロジー、当社の135年にわたるビル専門知識、および55年にわたり培われてきた小売業専門知識を利用した、インテリジェント・オペレーティング・システムを基盤とするコネクテッドソリューションとサービスの完全なスイートで、最適な小売店の運営と体験をもたらす、インパクトの強い持続可能な成果を実現します。オープンプラットフォームの上に構築された SaaS アプリケーションは、デジタルファースト、セキュア、アジャイル、革新的なオペレーティングモデルを可能にするデザインとなっています。

Johnson Controls は現在、小売技術で 1,795 件の特許を保有し、600 件を申請中です。2020年だけでも、Johnson Controls は Sensormatic Solutions の革新的な小売テクノロジーソリューションで過去最高の70件の特許を申請しており、うち 55% は、当社が今後提供する予定の小売ソリューションの新技术に関連しています。

小売ソリューションカテゴリのサービスとソリューションにより、小売業者は、デジタルトランスフォーメーションを加速化し、エネルギー効率の高い製品、クラウドベースのトラブルシューティング、現地訪問を必要としないリモート診断、そして、店舗の状況を正確に把握できなかったために顧客がムダ足を運ばなくても済むようにして排気量削減に貢献するなど、様々な方向からサステナビリティ・イニシアチブをサポートできます。

つまり、当社のソリューションにより小売業者は、処方的なデータ駆動型の結果をもとに行動を起こし、より健全な未来に向けて自信を持って前進することができます。

損失防止 EAS システム

最新の電子式商品監視 (EAS) システムは、旧モデルと比較してエネルギー消費量を50%削減します。このシステムは、時間または来店客数により「節電」モードを設定できることが特徴で、一日 12 時間あたり 30% の電力を節約することができます。

同様に、当社のクラウドベースの損失防止プラットフォーム、サービスとしての損失管理 (SMaaS) は、接続された EAS システムの監視、管理、リモートサービスを行います。これにより当社のサービスチームは、より迅速に対応し、遠隔的にトラブルシューティングを行うことができるため、現場訪問を少なくし、道路を走るトラックの台数を減らして炭素排出量を最小限に抑えることができます。



ソースタギングと再循環プログラム

当社のバーチャルソースタグ再循環 (VSTR) イニシアチブは、2010年に導入された既存の Sensormatic ソースタギングプログラムに由来するサービスで、商品に盗難防止対策が施され、即販売できる状態で納品されるため、人件費を削減し、損失を最小限に抑えることができます。

VSTR プログラムでは、製造元が商品を小売店に出荷する前にハードタグを装着し、店内でのタグ装着にかかる時間を削減できます。店内購入時に取り外されたタグは、店舗に在庫を納品するトラックを使って倉庫に返却します。指定の発送経路と容器を使って Sensormatic 再循環センターにタグを返却することは、商品の長距離輸送で最もエネルギー効率の良い方法だということが証明されています。

返却されたタグは、グリーン電力や、可能な場合はいつでもリサイクル品またはサステナブルな製品を使い、廃棄物や断片は最高の環境基準で確実に処理するなど、最も環境に優しい方法で、品質チェック、洗浄、再認証されます。複数回使用され、使用寿命に達したタグは、ISO14001 適合の再循環施設で、解体され、リサイクルされます。

以下は、昨年の Sensormatic Solutions VSTR プログラムの成果です。

- 15億個のタグの再循環 (プログラム開始以来、合計114億タグが再循環されています)
- 小売業者によって使用後のタグは90%以上が返却されています
- プログラム開始以来、タグに使用されていた合計1億7580万ポンドのプラスチックがリサイクルされました
- 280,000 MWh を超えるの節電効果 (26,000 世帯の年間使用電気量に相当) がもたらされました (プログラム開始以来、1,800,000 MWh の節電効果 (165,000 世帯の年間使用電気量に相当))
- 二酸化炭素放出削減 38,935トン (プログラム開始以来の二酸化炭素放出削減量 260,000 トン)

サステナビリティ受賞歴

Sensormatic Solutions は、複数の分野で、サステナビリティの取り組みを評価されています。Business Intelligence Group (BIG) は、Johnson Controls の小売ソリューションの革新的な Visual Source Tag Recirculation (VSTR) プログラムの、廃棄物および排出量の大幅削減に対する取り組みを評価し、Sustainability Service of the Year に選ばれました。Sensormatic Solutions を通じて Johnson Controls が VSTR を導入した際、使用済みのタグの洗浄、ソート、再利用を円滑に行えるスケーラブルなフレームワークを小売業者のために確立しました。このイニシアチブは、使用可能なハードウェアを廃棄する代わりに、再利用することで、プラスチック廃棄物を軽減します。現在、グローバル規模で当社が完全管理する再循環プログラムは、戦略的な配送プロセスとサプライチェーン管理を可能にし、指定された経路でタグを経由させることにより、グリーンハウスガスの排出を軽減することができます。

Johnson Controls は、Supply & Demand Chain Executive の Women of the Supply Chain を受賞しました。これは、企業の女性エグゼクティブのサステナビリティへの取り組みを評価するものです。この評価は、当社のサステナビリティに対する情熱と、コロナ禍の不透明な状況下での小売ポートフォリオブランドの主導力、そして責任ある小売への当社のコミットメントを裏付けるものです。

生鮮食品の安全性

Sensormatic Solutions は、Johnson Controls の小売ソリューションプロバイダとして、スーパーマーケット・食品店、薬局、レストラン、外食産業などの必要不可欠な小売事業者に手が届くユニークな立場にあります。当社はまた、世界の年間食料生産量の三分の一に当たる、およそ 13 億トンのまだ食べられる食品が廃棄されていることを認識しています (国連食糧農業機関データ)。

そのため、当社の運用効率ソリューションでは、食品安全性コンプライアンスパッケージを提供しています。このクラウドベースの、デジタル食品安全パッケージは、コールドチェーン (低温流通体系) で食品の安全性を確保するために監視、保護、警告できるよう、リアルタイムのデータをリモート提供します。デジタルソリューションを使い、食品廃棄物を軽減し、それによってカーボンフットプリントを減らすことができます。

在庫インテリジェンス

当社の在庫インテリジェンスソリューションは、サプライチェーン全体の廃棄物、炭素排出量、およびエネルギー消費量を軽減するのに役立つだけでなく、小売業者が内部プロセスとサプライチェーンの流れを評価および最適化するために役立つ、正確なリアルタイムのインサイトを提供します。このソリューションは、無線自動識別タグ (RFID) を使用して、企業全体のアイテムレベルの在庫情報を1つの画面に表示し、以下に役立つことができます。

- 最適な在庫レベルを維持し、顧客が店舗にムダ足を運ばなくて済むようにするために、交通とそれに伴う二酸化炭素排出量を低減する
- 倉庫および流通センターの最適利用により、これらの空間の運営に関連した環境的影響を減らす
- 適切な商品を、適切な場所で、適切な時に入手できるようにし、同時に顧客のムダ足を軽減することにより、過剰生産や材料の無駄を回避する

小売業者はまた、リアルタイムのデータを使って、プロセスの最適化を図り、商品の誤発送、非効率な交通手段、回避可能な廃棄物の生成など、負の環境的影響をもたらす非効率性を削除する、当社のサプライチェーンインテリジェンスパッケージに反映されたサステナビリティへの取り組みを確認することができます。

購入過程を効率化するためのインサイト

当社のショッパーエクスペリエンスソリューションにより、小売業者は、顧客行動を総合的に理解し、店舗や施設に関するよりスマートな決断をすることができます。例えば、ピーク時の調整をいつ加えたらよいかを知ることで、エネルギーと水資源を節約することができます。当社はまた、適切な人員配置がされていなかったり、在庫切れなどにより、店舗に何度も足を運ぶ必要性をなくし、二酸化炭素排出量を軽減することにも貢献しています。

顧客インサイトはまた、カーブサイドピックアップサービスのスタッフ配置を最適化することで、駐車場でエンジンをアイドリングさせて待っている顧客数を最小限に抑えることでも排出量軽減に寄与することができます。



買物客にとってのサステナビリティ



シームレスでサステナブルなショッピング体験

先ほど、消費者がサステナビリティを重視しており、環境にポジティブな影響をもたらすために取り組んでいるビジネスが選ばれているとお話しました。新型コロナウイルス感染拡大、そしてそれに伴う人々、場所、地球の健康への関心の高まりから、クリック・アンド・コレクトや、カーブサイドピックアップなどの急増に別々に対応する必要はありません。事実、小売業者はこれら両方の側面に並行して対処し、コネクテッドテクノロジーを活用して、すばらしい結果を達成することができます。

ショッパーエクスペリエンスは、「正確な小売（小売の店舗状況を正確に把握すること）」に依存します。消費者の優先条件を重視して、適切なアイテムを、適切な場所で、適切な時に提供することが重要です。これには、サステナビリティを意識しながら、顧客、店舗、スタッフ、および商品の間にも生まれる瞬間を利用して、小売業者がブランド体験にポジティブな影響をもたらし、シームレスなユニファイドコマースを実行することが含まれます。

例えば、カーブサイドピックアップであれば、アイテムレベルの在庫を見える化することで、顧客は商品の在庫が入荷しており、受け取り可能な状態であることを確信して、目的意識をもって来店することができます。これで顧客は、在庫切れのために無駄足を運んだり、再度店を訪れる必要がなくなるため、排気量を削減し、また商品の受け取りを迅速にすることで駐車場で待ち時間を減らすことができます。

さらに、顧客インサイトから得られたデータを統合することで、スタッフのサービスレベルと、顧客の購入時間を見える化し、サービス需要に合わせてスタッフの最適化を図ることで、購入過程を効率化して、店舗へのムダ足を無くすることができます。これはすべて、顧客により直接的な恩恵をもたらすものであり、正しく配備することで、小売店は、これらのテクノロジーがシームレスなショッピング体験を形成するだけでなく、サステナビリティにも効果があるのだということを立証することができます。

Sensormatic Solutions にとってのサ ステナビリティ

内外でのサステナビリティへのコミットメント

当社は、世界にポジティブな変化をもたらすためには、まず自社から変えていく必要があると信じています。適切なプロセスを制度化することで、当社はスタッフが当社の運営、施設、およびフリートを継続的に評価し、すべての無駄を特定し、軽減することで、環境パフォーマンスとエネルギー管理を向上できるようにしています。フォーカス分野には次の4つがあります。

- ISO 14001「環境マネジメントシステム (Environmental Management System)」と ISO 50001「エネルギーマネジメントシステム (Energy management systems)」認証。優先事項としては、水資源、電気消費量、グリーンガス排出量、およびごみ廃棄場への廃棄物の削減が含まれます。
- 地球にやさしい材料: ポストインダストリアルリサイクル材の追加、現在のパッケージングの印刷をなくし、環境に優しいパッケージングの導入、生分解可能なプラスチックバッグの使用など、可能な場合はいつでも、グリーンストレッチなどのリサイクル材を使用します。
- 貨物車両のエネルギー効率: 顧客のコネクテッドデバイスをクラウドから遠隔的に管理・修理して、現地訪問を極力減らします。
- 責任ある人々: Johnson Controls は、変化を実現し、ボランティアや慈善活動への取り組みをサポートする人々を引き付け、テクノロジーを提供し、統合プロセスを展開します。

小売業者、顧客、および自社のサステナビリティに向けた当社の取り組みが終わることはありません。これは、人々、場所、地球の明日の健康のために、当社が真剣に取り組んでいる、長期的なコミットメント・誓約です。



ボランティアおよび慈善活動 に対する Johnson Controls の コミットメント

- ・ グローバル規模で、Johnson Controls の 80% 以上のボランティア活動は、17つの国連持続可能性開発目標 (SDG) に関連しており、33% は「Sustainable Cities and Communities」、25% は「Quality Education」に関連しています。プログラムを通じて Johnson Controls は、当社の慈善活動やボランティア活動の関連性を高め、その両方の影響力を行使しています。
- ・ 1952 年以来、当社は定期的に Johnson Controls Foundation への資金提供を通じて、コミュニティに強力な慈善的支援を提供してきました。過去10年間で Johnson Controls Foundation は、\$7700万を米国の慈善団体に寄付してきました。基金は Johnson Controls とは別の事業体であり、独自の理事会を置きます。
- ・ ボランティア活動は、当社の従業員が生活し、仕事をする地域社会に、安全、スマート、サステナブルなコミュニティを形成するという、当社の総合的な慈善事業の方針と一致しています。企業慈善活動の取り組みにより\$820万以上の寄付金が集まりました。また、当社の従業員からは\$260万を超える寄付金が寄せられました。

当社とつながる

当社のサステナビリティイニシアチブに関する詳細は、[Sensormatic.com/Sustainability](https://www.sensormatic.com/Sustainability) をご覧ください。また [LinkedIn](#) や [Twitter](#) から #SensormaticSustainability を使って当社をフォローしたり、[YouTube](#) チャンネルを視聴することができます。

Johnson Controls について

Johnson Controls (NYSE:JCI) では、人々が生活をし、働き、学習し、遊ぶ環境を変革するお手伝いをしています。スマートで、健康的、かつ持続可能なビルの世界的リーダーとして、当社は人々、場所、そして地球に奉仕するビルパフォーマンスを考え直すことをミッションに掲げています。

135年以上にわたるイノベーションの歴史をもとに Johnson Controls は、総合的なデジタルサービスの OpenBlue を通じて、ヘルスケア、教育施設、データセンター、空港、スポーツ施設、製造施設などの産業に未来の青写真を提供します。全世界 150 カ国以上、10 万人のエキスパートから成るグローバルチームを備えた Johnson Controls は、ビルテクノロジー、ソフトウェア、およびサービスソリューション分野において、業界で最も高い信頼を置かれている、世界最大のブランドポートフォリオを持ちます。

詳細は、www.johnsoncontrols.com にアクセスするか、Twitter で [@johnsoncontrols](#) をフォローしてください。

Sensormatic ソリューションについて

Sensormatic Solutions は、Johnson Controls が保有する世界有数の小売ソリューションブランドです。当社は、本格的なオペレーショナルエクセレンスを促進し、スマートで、コネクテッドなショッパーエンゲージメントを実現します。当社のインテリジェントデジタルオペレーティングプラットフォーム、Sensormatic IQ は、第三者のデータを含む Sensormatic Solutions ポートフォリオを統合し、AI や機械学習などの高度な技術を使い、顧客体験、在庫インテリジェンス、損失防止、および運用効率に関する、これまでにないインサイトを提供します。当社のソリューションを使って小売業者は、処方的および予測的なデータ駆動型の結果をもとに行動を起こし、より健全な未来に向けて自信を持って前進することができます。

[Sensormatic Solutions](#) にアクセスするか、[LinkedIn](#)、[Twitter](#)、および [YouTube](#) チャンネルをフォローしてください。



<https://www.linkedin.com/company/sensormatic/>



<https://twitter.com/sensormatic>



<https://www.youtube.com/c/SensormaticSolutions>